

## 1 コンセプト

読書の楽しみや学びの場を求めて児童が集う学校図書館として  
読書活動の充実と蔵書の整備に努め、教育課程をバックアップする  
機能をもつ。



## 2 子どもの居場所としての図書館の演出

一階 「読書力」を高めるための読書センターとして

二階 問題解決学習等、授業での活用を図るための情報センターとして

○想像力に働きかける親しみやすい図書館として

- ・ファンタジーの入り口（格子掲示板、展示台）
- ・物語の世界（1階掲示板）
- ・造形アート、光のアート（階段）

○読みたい本がある、調べたい本がある頼りになる図書館に

○人のぬくもりと温かさのある図書館に

- ・学校司書とカウンター



## 3 教師のための図書館として

○教材研究の場として ー教師自身の発想を広げるー

○授業づくりの発想の転換を

- ・主体的な学び ー自分の課題を自分の力で解決するー
- ・多様な学び ー学習意欲を高めるー
- ・学びの共有 ー学び高め合うー

○年間の教育課程に学校図書館活用を位置付ける

## 4 子どもの学びたい気持ちに応える図書館に

○情報リテラシー（情報活用能力）をはぐくむ。

- ・見つける <課題の設定>
- ・つかむ <求め続ける力>
- ・伝え合う <創り上げる力 共に生きる力>



○読書活動（読書マラソン、おすすめ本の紹介、読み聞かせ、児童集会での本の紹介等）の活性化

○「図書委員会」活動の広がり ーゆめのくに図書館への校内の導線ー

## 5 子どものための「ゆめのくに」を

○計画的な図書の購入・整備

○読書活動推進委員会 ー読書活動の工夫ー

○研究推進委員会 ー授業研究での活用ー

○保護者の協力 （図書ボランティア、親子読書）